

まちづくりの目標1 未来を創り出す子どもが育つまちづくり (子育て・教育)

まずはじめに、まちづくりの目標 1「未来を創り出す子どもが育つまちづくり」について申し上げます。

まず、子ども・子育て支援の充実につきましては、妊産婦に対する個別支援計画に基づいた支援などの継続的なサポートの実施や、子育て世代包括支援センター「すまいるステーション」における切れ目のない支援を推進するとともに、悩みや不安を抱える子育て世代などを対象に、臨床心理士・公認心理士によるこころのケア“cococare(ココケア)”を実施し、産後うつ等に対する早期支援の充実を図ってまいります。

少子化が進む中、将来の保育需要に適切に対応できるよう、保育園、幼稚園の再編計画の策定に取り組んでまいります。また、将来を担う子どもたちの健やかな成長を応援するために、愛媛県と連携し、第2子以降の出生時に5万円分の紙おむつを購入できる「愛顔っ子(えがおっこ)応援券」に加え、さらなる子育て世帯の負担軽減を図るため、第1子に対する市の独自事業として、令和3年度から取り組んでおります、3万円分のベビー用品が購入できる「はまっこすたあと応援券」につきましても引き続き実施いたします。

さらに、愛媛県内の市では初めて、高校生までに拡大いたしました医療費の無償化につきましても、継続して実施することにより、子どもの健康増進及び子育て世帯の経済的負担の軽減を図ってまいります。

学校教育の充実につきましては、教育現場におけるICT機器を活用した教育を推進するとともに、市内の全小・中学校においてESD教育を推進し、SDGsの達成、将来の社会の担い手である子どもたちの育成に取り組むとともに、個々のニーズに応じた相談体制の整備・充実に努め、いじめ・不登校等の問題に対応してまいります。

さらに、小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本的な考え方をもとに、今後の具体的な方策等について取りまとめた適正規模・適正配置に関する基本計画の策定に取り組むとともに、トイレの洋式化や校舎及び体育館のLED化など施設改修や環境整備についても計画的に進めてまいります。

また、(仮称)新居浜市西部学校給食センターにつきましては、建設工事に着手し、供用開始に向けた整備等を着実に進めてまいります。